



平成 20 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 10 月 24 日

上場会社名 株式会社千趣会

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 8165

URL <http://www.senshukai.co.jp>

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 行待裕弘

問合せ先責任者 役職名 取締役常務執行役員 総務本部長

TEL (06) 6881-3100

氏名 藤由和秀

(百万円未満切捨)

1. 平成 20 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第3四半期	113,393	2.4	1,143	△65.3	159	△95.7	△457	—
19年12月期第3四半期	110,786	5.0	3,290	4.4	3,689	5.2	1,831	△37.7
19年12月期	156,792	—	5,291	—	5,626	—	2,494	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年12月期第3四半期	△ 9 79	—
19年12月期第3四半期	39 39	39 25
19年12月期	53 60	53 46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年12月期第3四半期	109,153	51,908	47.5	1,110 67
19年12月期第3四半期	101,325	56,484	55.7	1,209 44
19年12月期	98,422	55,955	56.8	1,197 62

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年12月期第3四半期	△ 2,110	△ 6,268	12,854	8,001
19年12月期第3四半期	△ 4,454	△ 3,155	4,238	2,453
19年12月期	1,444	△ 6,047	2,305	3,526

2. 平成 20 年 12 月期の連結業績予想 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	160,000 2.0	3,000 △43.3	2,600 △53.8	900 △63.9	19 27

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は 3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローンに端を発した世界的な金融市場の混乱や、為替の急激な変動に加え原油など原材料の高騰により景気は減速局面を迎えております。また小売業界におきましても、各種資源価格の高騰による食料品をはじめとした生活必需品の値上がりからの消費者心理の悪化とそれに伴う生活防衛意識の高まりなど厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、平成 22 年度を最終年度とする『中期経営計画』の初年度として目標達成に向け中核事業である通信販売事業においてチャンネルミックスの推進や SCM (商品供給一連管理) 強化などを進めてまいりました。

当第 3 四半期の売上高は、1,133 億 93 百万円 (前年同期比 2.4%増) となりました。

利益面に関しましては、原価率の上昇や本社移転に伴う諸費用増加及び印刷用紙値上がりによる印刷費増加により販売費及び一般管理費が増加いたしました。その結果営業利益は 11 億 43 百万円 (前年同期比 65.3%減) となりました。

また経常利益は、為替差損及び複合金融商品評価損の計上等の増加により 1 億 59 百万円 (前年同期比 95.7%減) となりました。四半期純損失につきましては、4 億 57 百万円 (前年同期は 18 億 31 百万円の純利益) となりました。

セグメント別の概況

(通信販売事業)

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第 3 四半期の売上高は、頒布会事業の会員数の減少による売上減はありましたが、カタログ事業において当社基幹媒体である「私たちの暮らす服」の好調により全体で前年度を上回り、1,045 億 9 百万円 (前年同期比 1.8%増) となりました。

利益面におきましては、原価率の上昇・販売費及び一般管理費増加により営業利益は 17 億 98 百万円 (前年同期比 47.8%減) となりました。

(1) カタログ事業

当第 3 四半期の売上高は 952 億 51 百万円 (前年同期比 2.8%増) となりました。

(2) 頒布会事業

当第 3 四半期の売上高は 92 億 57 百万円 (前年同期比 7.5%減) となりました。

※ 当期より組織変更に伴い頒布会事業とカタログ事業において一部媒体を相互に移管いたしました。対前年同期比数値は移管後の基準による比較となっております。

(その他の事業)

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と、運送業、店舗事業及びペット事業等の商品販売業、また法人向けの商品・サービスを提供する法人事業などを合わせたその他の事業の当第 3 四半期の売上高は、新規連結子会社(株)ディアーズ・ブレインの売上もあり 88 億 83 百万円 (前年同期比 10.0%増) となりました。また営業損失に関しては、6 億 63 百万円 (前年同期比 5 億 21 百万円損失増) となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて 107 億 30 百万円増加し、1,091 億 53 百万円となりました。流動資産については、現金及び預金が 37 億 61 百万円増加したこと等により、39 億 20 百万円増加し、521 億 45 百万円となりました。また、固定資産については、有形固定資産が 40 億 26 百万円、無形固定資産が 25 億 75 百万円、投資その他の資産が 2 億 7 百万円増加したことにより、68 億 9 百万円増加し、570 億 7 百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて 147 億 77 百万円増加し、572 億 44 百万円となりました。流動負債については、短期借入金が 105 億 14 百万円増加したこと等により、93 億 35 百万円増加し、505 億 10 百万円となりました。また、固定負債については、長期借入金が 51 億 63 百

万円増加したこと等により、54 億 42 百万円増加し、67 億 34 百万円となりました。

純資産は、四半期純損失 4 億 57 百万円を計上するとともに、繰延ヘッジ損益が 12 億 99 百万円、その他有価証券評価差額金が 11 億 83 百万円減少したこと等により、40 億 47 百万円減少し、519 億 8 百万円となりました。この結果自己資本比率は 47.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物の残高は 80 億 1 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 44 億 74 百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は 21 億 10 百万円の支出となりました。主なプラス要因は、減価償却費 15 億 20 百万円、その他流動資産の減少額 11 億 7 百万円、たな卸資産の減少額 10 億 31 百万円であり、主なマイナス要因は、仕入債務の減少額 23 億 75 百万円、法人税等の支払額 23 億 12 百万円、その他流動負債の減少額 16 億 78 百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は 62 億 68 百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出 23 億 26 百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 22 億 97 百万円、投資有価証券の取得による支出 18 億 63 百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は 128 億 54 百万円の収入となりました。主なプラス要因は、短期借入金の純増加額 90 億 66 百万円、長期借入れによる収入 50 億 52 百万円であり、主なマイナス要因は、配当金の支払額 10 億 3 百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、さらなる世界的な金融不安による景気後退や個人消費の低迷、また流通再編の更なる加速など厳しい経営環境が続くものと思われま

す。当社グループの通期の連結業績見通しといたしましては、7 月 17 日に発表いたしました業績予想を達成できるものと見込んでおります。

なお、個別業績予想についても同様であります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準等に簡便な方法を採用しております。

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	期 別		前第 3 四半期末 (平成 19 年 9 月 30 日)		当第 3 四半期末 (平成 20 年 9 月 30 日)		増 減		前連結会計年度末 (平成 19 年 12 月 31 日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比		
(資産の部)		%		%		%				%
I 流動資産	51,690	51.0	52,145	47.8	454	0.9	48,224	49.0		
現金及び預金	2,371		7,205				3,444			
受取手形及び売掛金	11,926		12,611				11,211			
有価証券	85		803				85			
たな卸資産	22,135		18,310				19,318			
その他	15,171		13,215				14,164			
II 固定資産	49,634	49.0	57,007	52.2	7,373	14.9	50,197	51.0		
有形固定資産	25,180		29,055				25,028			
無形固定資産	3,690		5,921				3,346			
投資その他の資産	20,763		22,031				21,823			
資産合計	101,325	100.0	109,153	100.0	7,827	7.7	98,422	100.0		
(負債の部)										
I 流動負債	42,719	42.2	50,510	46.3	7,791	18.2	41,175	41.8		
支払手形及び買掛金	11,246		9,335				11,023			
短期借入金	5,000		13,514				3,000			
一年内償還予定社債	—		54				—			
未払金	8,203		7,045				6,423			
ファクタリング未払金	12,955		13,888				15,027			
その他	5,313		6,672				5,701			
II 固定負債	2,121	2.1	6,734	6.1	4,612	217.4	1,291	1.3		
社債	—		201				—			
長期借入金	—		5,163				—			
その他	2,121		1,369				1,291			
負債合計	44,840	44.3	57,244	52.4	12,403	27.7	42,466	43.1		
(純資産の部)										
I 株主資本	62,278	61.4	61,464	56.3	△ 813	△ 1.3	63,020	64.1		
資本金	20,359		20,359				20,359			
資本剰余金	21,002		21,038				21,038			
利益剰余金	21,589		20,697				22,253			
自己株式	△ 678		△ 631				△ 630			
自己株式申込証拠金	5		—				—			
II 評価・換算差額等	△ 5,859	△ 5.8	△ 9,581	△ 8.8	△ 3,721	—	△ 7,074	△ 7.2		
その他有価証券評価差額金	769		△ 696				486			
繰延ヘッジ損益	727		△ 1,484				△ 185			
土地再評価差額金	△ 7,359		△ 7,359				△ 7,359			
為替換算調整勘定	4		△ 40				△ 16			
III 少数株主持分	66	0.1	25	0.1	△ 40	△ 61.1	10	0.0		
純資産合計	56,484	55.7	51,908	47.6	△ 4,576	△ 8.1	55,955	56.9		
負債純資産合計	101,325	100.0	109,153	100.0	7,827	7.7	98,422	100.0		

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

期 別 科 目	前第 3 四半期 〔自平成19年1月1日 至平成20年9月30日〕		当第 3 四半期 〔自平成20年1月1日 至平成20年9月30日〕		増 減		前連結会計年度 〔自平成19年1月1日 至平成19年12月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売 上 高	110,786	100.0	113,393	100.0	2,606	2.4	156,792	100.0
II 売 上 原 価	57,112	51.6	58,936	52.0	1,823	3.2	80,864	51.6
売上総利益	53,674	48.4	54,457	48.0	783	1.5	75,928	48.4
III 販売費及び一般管理費	50,383	45.4	53,313	47.0	2,930	5.8	70,637	45.0
営業利益	3,290	3.0	1,143	1.0	△2,146	△65.3	5,291	3.4
IV 営業外収益	624	0.5	632	0.5	7	1.3	904	0.6
受取利息	231		190				353	
受取配当金	87		96				103	
為替差益	79		—				135	
その他	225		345				311	
V 営業外費用	225	0.2	1,616	1.4	1,390	617.1	568	0.4
支払利息	37		86				64	
為替差損	—		468				—	
複合金融商品評価損	—		699				212	
その他	188		361				291	
経常利益	3,689	3.3	159	0.1	△3,529	△95.7	5,626	3.6
VI 特別利益	335	0.3	219	0.2	△115	△34.4	335	0.2
VII 特別損失	747	0.6	108	0.1	△638	△85.5	1,212	0.8
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,276	3.0	270	0.2	△3,006	△91.7	4,749	3.0
法人税等	1,454	1.3	725	0.6	△728	△50.1	2,275	1.4
少数株主利益(△は損失)	△8	△0.0	1	0.0	10	—	△20	△0.0
四半期(当期)純利益(△は純損失)	1,831	1.7	△457	△0.4	△2,288	—	2,494	1.6

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	前第 3 四半期	当第 3 四半期	前連結会計年度
		(自 平成 19 年 1 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)	(自 平成 20 年 1 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)	(自 平成 19 年 1 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		3,276	270	4,749
減価償却費		1,250	1,520	1,724
販売促進引当金の増加(減少)額	△	77	36	142
受取利息及び受取配当金	△	319	286	456
支払利息		37	86	64
複合金融商品評価損		—	699	212
売上債権の増加(減少)額	△	339	1,372	375
たな卸資産の減少(増加)額	△	5,559	1,031	2,742
その他流動資産の減少(増加)額	△	497	1,107	1,661
仕入債務の減少額	△	741	2,375	964
その他流動負債の減少(増加)額	△	1,506	1,678	170
その他の		188	926	171
小計	△	4,287	34	1,501
利息及び配当金の受取額		281	329	438
利息の支払額	△	48	92	69
法人税等の支払額	△	400	2,312	426
営業活動によるキャッシュ・フロー	△	4,454	2,110	1,444
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	909	2,326	1,904
有形固定資産の売却による収入		147	362	—
無形固定資産の取得による支出	△	1,604	309	1,827
投資有価証券の取得による支出	△	1,763	1,863	3,354
投資有価証券の売却による収入		2,123	625	2,623
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		—	2,297	—
定期預金の増加額		—	997	1,217
その他の	△	1,149	535	366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	3,155	6,268	6,047
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加額		5,000	9,066	3,000
長期借入れによる収入		66	5,052	66
長期借入金の返済による支出	△	456	248	456
社債の償還による支出		—	11	—
自己株式の取得による支出	△	31	1	32
自己株式の売却による収入		686	0	765
少数株主からの払込みによる収入		30	—	30
配当金の支払額	△	1,054	1,003	1,065
少数株主への配当金の支払額	△	2	—	2
財務活動によるキャッシュ・フロー		4,238	12,854	2,305
IV 現金及び現金同等物の増加(減少)額	△	3,371	4,474	2,298
V 現金及び現金同等物の期首残高		5,549	3,526	5,549
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		275	—	275
VII 現金及び現金同等物の期末残高		2,453	8,001	3,526



平成 20 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 10 月 24 日

上場会社名 株式会社千趣会

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 8165

URL <http://www.senshukai.co.jp>

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 行待 裕弘

問合せ先責任者 役職名 取締役 常務執行役員 総務本部長

TEL (06) 6881-3100

氏名 藤由 和秀

(百万円未満切捨)

1. 平成 20 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第3四半期	113,393	2.4	<u>1,195</u>	<u>△63.7</u>	<u>△197</u>	—	<u>△1,051</u>	—
19年12月期第3四半期	110,786	5.0	3,290	4.4	<u>2,937</u>	<u>△16.2</u>	<u>1,383</u>	<u>△53.0</u>
19年12月期	156,792	—	5,291	—	<u>4,683</u>	—	<u>1,932</u>	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年12月期第3四半期	<u>△22</u> <u>50</u>	—
19年12月期第3四半期	<u>29</u> <u>75</u>	<u>29</u> <u>65</u>
19年12月期	<u>41</u> <u>53</u>	<u>41</u> <u>41</u>

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年12月期第3四半期	<u>108,719</u>	<u>51,527</u>	<u>47.4</u>	<u>1,102</u> <u>52</u>
19年12月期第3四半期	101,325	56,484	55.7	1,209 44
19年12月期	98,422	55,955	56.8	1,197 62

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年12月期第3四半期	<u>△2,110</u>	<u>△6,268</u>	12,854	8,001
19年12月期第3四半期	<u>△4,454</u>	<u>△3,155</u>	4,238	2,453
19年12月期	1,444	<u>△6,047</u>	2,305	3,526

2. 平成 20 年 12 月期の連結業績予想 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	160,000 2.0	3,000 <u>△43.3</u>	2,600 <u>△44.5</u>	900 <u>△53.4</u>	19 27

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は 3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローンに端を発した世界的な金融市場の混乱や、為替の急激な変動に加え原油など原材料の高騰により景気は減速局面を迎えております。また小売業界におきましても、各種資源価格の高騰による食料品をはじめとした生活必需品の値上がりからの消費者心理の悪化とそれに伴う生活防衛意識の高まりなど厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、平成 22 年度を最終年度とする『中期経営計画』の初年度として目標達成に向け中核事業である通信販売事業においてチャンネルミックスの推進や SCM(商品供給一連管理)強化などを進めてまいりました。

当第 3 四半期の売上高は、1,133 億 93 百万円(前年同期比 2.4%増)となりました。

利益面に関しましては、原価率の上昇や本社移転に伴う諸費用増加及び印刷用紙値上がりによる印刷費増加により販売費及び一般管理費が増加いたしました。その結果営業利益は 11 億 95 百万円(前年同期比 63.7%減)となりました。

また経常損失は、為替差損及び複合金融商品評価損の計上等の増加により 1 億 97 百万円(前年同期は 29 億 37 百万円の経常利益)となりました。四半期純損失につきましては、10 億 51 百万円(前年同期は 13 億 83 百万円の純利益)となりました。

セグメント別の概況

(通信販売事業)

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第 3 四半期の売上高は、頒布会事業の会員数の減少による売上減はありましたが、カタログ事業において当社基幹媒体である「私たちの暮らす服」の好調により全体で前年度を上回り、1,045 億 9 百万円(前年同期比 1.8%増)となりました。

利益面におきましては、原価率の上昇・販売費及び一般管理費増加により営業利益は 18 億 50 百万円(前年同期比 46.3%減)となりました。

(1) カタログ事業

当第 3 四半期の売上高は 952 億 51 百万円(前年同期比 2.8%増)となりました。

(2) 頒布会事業

当第 3 四半期の売上高は 92 億 57 百万円(前年同期比 7.5%減)となりました。

※ 当期より組織変更に伴い頒布会事業とカタログ事業において一部媒体を相互に移管いたしました。対前年同期比数値は移管後の基準による比較となっております。

(その他の事業)

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と、運送業、店舗事業及びペット事業等の商品販売業、また法人向けの商品・サービスを提供する法人事業などを合わせたその他の事業の当第 3 四半期の売上高は、新規連結子会社(株)ディアーズ・ブレインの売上もあり 88 億 83 百万円(前年同期比 10.0%増)となりました。また営業損失に関しては、6 億 63 百万円(前年同期比 5 億 21 百万円損失増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて 102 億 97 百万円増加し、1,087 億 19 百万円となりました。流動資産については、現金及び預金が 37 億 61 百万円増加したこと等により、40 億 12 百万円増加し、522 億 36 百万円となりました。また、固定資産については、有形固定資産が 40 億 26 百万円、無形固定資産が 25 億 75 百万円それぞれ増加いたしました。投資その他の資産が 3 億 17 百万円減少したことにより、62 億 84 百万円増加し、564 億 82 百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて 147 億 25 百万円増加し、571 億 91 百万円となりました。流動負債については、短期借入金が 105 億円 14 百万円増加したこと等により、92 億 82 百万円増加し、504 億 57 百万円となりました。また、固定負債については、長期借入金が 51 億 63 百

万円増加したこと等により、54 億 42 百万円増加し、67 億 34 百万円となりました。

純資産は、四半期純損失 10 億 51 百万円を計上するとともに、繰延ヘッジ損益が 10 億 86 百万円、その他有価証券評価差額金が 11 億 83 百万円減少したこと等により、44 億 28 百万円減少し、515 億 27 百万円となりました。この結果自己資本比率は 47.4%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物の残高は 80 億 1 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 44 億 74 百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は 21 億 10 百万円の支出となりました。主なプラス要因は、減価償却費 15 億 20 百万円、その他流動資産の減少額 11 億 7 百万円、たな卸資産の減少額 10 億 31 百万円であり、主なマイナス要因は、仕入債務の減少額 23 億 75 百万円、法人税等の支払額 23 億 12 百万円、その他流動負債の減少額 16 億 78 百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は 62 億 68 百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出 23 億 26 百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 22 億 97 百万円、投資有価証券の取得による支出 18 億 63 百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は 128 億 54 百万円の収入となりました。主なプラス要因は、短期借入金の純増加額 90 億 66 百万円、長期借入れによる収入 50 億 52 百万円であり、主なマイナス要因は、配当金の支払額 10 億 3 百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、さらなる世界的な金融不安による景気後退や個人消費の低迷、また流通再編の更なる加速など厳しい経営環境が続くものと思われま

す。当社グループの通期の連結業績見通しといたしましては、7 月 17 日に発表いたしました業績予想を達成できるものと見込んでおります。

なお、個別業績予想についても同様であります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準等に簡便な方法を採用しております。

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	期 別		前第3四半期末 (平成19年9月30日)		当第3四半期末 (平成20年9月30日)		増 減		前連結会計年度末 (平成19年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比		
(資産の部)		%		%		%				%
I 流動資産	51,690	51.0	<u>52,236</u>	<u>48.0</u>	<u>546</u>	<u>1.1</u>	48,224	49.0		
現金及び預金	2,371		7,205				3,444			
受取手形及び売掛金	11,926		12,611				11,211			
有価証券	85		803				85			
たな卸資産	22,135		18,310				19,318			
その他	15,171		<u>13,306</u>				14,164			
II 固定資産	49,634	49.0	<u>56,482</u>	<u>52.0</u>	<u>6,847</u>	<u>13.8</u>	50,197	51.0		
有形固定資産	25,180		29,055				25,028			
無形固定資産	3,690		5,921				3,346			
投資その他の資産	20,763		<u>21,505</u>				21,823			
資産合計	101,325	100.0	<u>108,719</u>	100.0	<u>7,393</u>	<u>7.3</u>	98,422	100.0		
(負債の部)										
I 流動負債	42,719	42.2	<u>50,457</u>	<u>46.4</u>	<u>7,738</u>	<u>18.1</u>	41,175	41.8		
支払手形及び買掛金	11,246		9,335				11,023			
短期借入金	5,000		13,514				3,000			
一年内償還予定社債	—		54				—			
未払金	8,203		7,045				6,423			
ファクタリング未払金	12,955		13,888				15,027			
その他	5,313		<u>6,619</u>				5,701			
II 固定負債	2,121	2.1	6,734	<u>6.2</u>	4,612	217.4	1,291	1.3		
社債	—		201				—			
長期借入金	—		5,163				—			
その他	2,121		1,369				1,291			
負債合計	44,840	44.3	<u>57,191</u>	<u>52.6</u>	<u>12,350</u>	<u>27.5</u>	42,466	43.1		
(純資産の部)										
I 株主資本	<u>61,829</u>	<u>61.0</u>	<u>60,308</u>	<u>55.5</u>	<u>△ 1,521</u>	<u>△ 2.5</u>	<u>62,458</u>	<u>63.5</u>		
資本金	20,359		20,359				20,359			
資本剰余金	21,002		21,038				21,038			
利益剰余金	<u>21,141</u>		<u>19,541</u>				<u>21,691</u>			
自己株式	△ 678		△ 631				△ 630			
自己株式申込証拠金	5		—				—			
II 評価・換算差額等	<u>△ 5,411</u>	<u>△ 5.4</u>	<u>△ 8,806</u>	<u>△ 8.1</u>	<u>△ 3,394</u>	—	<u>△ 6,512</u>	<u>△ 6.6</u>		
その他有価証券評価差額金	769		△ 696				486			
繰延ヘッジ損益	<u>1,175</u>		<u>△ 709</u>				<u>376</u>			
土地再評価差額金	△ 7,359		△ 7,359				△ 7,359			
為替換算調整勘定	4		△ 40				△ 16			
III 少数株主持分	66	0.1	25	<u>0.0</u>	△ 40	△ 61.1	10	0.0		
純資産合計	56,484	55.7	<u>51,527</u>	<u>47.4</u>	<u>△ 4,957</u>	<u>△ 8.8</u>	55,955	56.9		
負債純資産合計	101,325	100.0	<u>108,719</u>	100.0	<u>7,393</u>	<u>7.3</u>	98,422	100.0		

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

期 別 科 目	前第3四半期 (自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)		当第3四半期 (自平成20年1月1日 至平成20年9月30日)		増 減		前連結会計年度 (自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売 上 高	110,786	100.0	113,393	100.0	2,606	2.4	156,792	100.0
II 売 上 原 価	57,112	51.6	58,884	51.9	1,771	3.1	80,864	51.6
売 上 総 利 益	53,674	48.4	54,508	48.1	834	1.6	75,928	48.4
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	50,383	45.4	53,313	47.0	2,930	5.8	70,637	45.0
営 業 利 益	3,290	3.0	1,195	1.1	△2,095	△63.7	5,291	3.4
IV 営 業 外 収 益	544	0.5	632	0.5	87	16.0	768	0.5
受 取 利 息	231		190				353	
受 取 配 当 金	87		96				103	
そ の 他	225		345				311	
V 営 業 外 費 用	897	0.8	2,025	1.8	1,127	125.6	1,376	0.9
支 払 利 息	37		86				64	
為 替 差 損	672		877				807	
複 合 金 融 商 品 評 価 損	—		699				212	
そ の 他	188		361				291	
経 常 利 益(△は損失)	2,937	2.7	△197	△0.2	△3,135	—	4,683	3.0
VI 特 別 利 益	335	0.3	219	0.2	△115	△34.4	335	0.2
VII 特 別 損 失	747	0.7	108	0.1	△638	△85.5	1,212	0.8
税金等調整前四半期(当期)純利益 (△は純損失)	2,524	2.3	△86	△0.1	△2,611	—	3,806	2.4
法 人 税 等	1,150	1.1	962	0.8	△188	△16.4	1,894	1.2
少数株主利益(△は損失)	△8	△0.0	1	0.0	10	—	△20	△0.0
四半期(当期)純利益(△は純損失)	1,383	1.2	△1,051	△0.9	△2,434	—	1,932	1.2

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	前連結会計年度
		(自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)	(自平成20年1月1日 至平成20年9月30日)	(自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益(△は純損失)		2,524	△ 86	3,806
減価償却費		1,250	1,520	1,724
販売促進引当金の増加(減少)額	△	77	36	142
受取利息及び受取配当金	△	319	△ 286	△ 456
支払利息		37	86	64
複合金融商品評価損		—	699	212
売上債権の増加(減少)額	△	339	△ 1,372	375
たな卸資産の減少(増加)額	△	5,559	1,031	△ 2,742
その他流動資産の減少(増加)額	△	497	1,107	△ 1,661
仕入債務の減少額	△	741	△ 2,375	△ 964
その他流動負債の減少(増加)額	△	1,506	△ 1,678	170
その他の		940	1,283	1,115
小計	△	4,287	△ 34	1,501
利息及び配当金の受取額		281	329	438
利息の支払額	△	48	△ 92	△ 69
法人税等の支払額	△	400	△ 2,312	△ 426
営業活動によるキャッシュ・フロー	△	4,454	△ 2,110	1,444
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	909	△ 2,326	△ 1,904
有形固定資産の売却による収入		147	362	—
無形固定資産の取得による支出	△	1,604	△ 309	△ 1,827
投資有価証券の取得による支出	△	1,763	△ 1,863	△ 3,354
投資有価証券の売却による収入		2,123	625	2,623
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		—	△ 2,297	—
定期預金の増加額		—	△ 997	△ 1,217
その他の	△	1,149	535	△ 366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	3,155	△ 6,268	△ 6,047
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加額		5,000	9,066	3,000
長期借入れによる収入		66	5,052	66
長期借入金の返済による支出	△	456	△ 248	△ 456
社債の償還による支出		—	△ 11	—
自己株式の取得による支出	△	31	△ 1	△ 32
自己株式の売却による収入		686	0	765
少数株主からの払込みによる収入		30	—	30
配当金の支払額	△	1,054	△ 1,003	△ 1,065
少数株主への配当金の支払額	△	2	—	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー		4,238	12,854	2,305
IV 現金及び現金同等物の増加(減少)額	△	3,371	4,474	△ 2,298
V 現金及び現金同等物の期首残高		5,549	3,526	5,549
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		275	—	275
VII 現金及び現金同等物の期末残高		2,453	8,001	3,526